（事業所職員向け） 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			児童の様子を見ながら困り事がある時には配置を変えている。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		常時4～5名が支援に当たれるようにしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			段差がある部分にはスロープを設けたり、トイレには手すりをつけている。車いすの方も入ってきやすいように、玄関の間口を広くとっている。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		職員が一堂に会して協議する時間がまだまだ足りていないため、その機会を設けるように努める。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			昨年度分は、ホームページに掲載した。その旨を保護者には周知して、見てもらうようにした。今年度も同様に行う予定である。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後、検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		来年度以降は、年間のスケジュールに基づいて行っていきたいです。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		今後、取り入れていきたい
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			生活スキルを上げるための活動を取り入れることが出来た。固定化させた方がいい物に関しては繰り返し取り組みながら、継続性や発展性を持たせられるように工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			小集団や個別に合わせた活動を行っている。
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			前回までは、口頭だけの振り返りだったため、日々の振り返りを記録として残すようにした。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携関係	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		全ての児童には不足しているため、今後、更なる関係強化を図っていきたい
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		対象となる児童を受け入れていないため。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		同法人内では申し送り等ができているが、他法人との共有は不足している 法人内で以前利用していた事業所での様子を見に行くなどしています
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		これまでは対象となる児童がいなかったが、今後対象となる児童が出てきた場合は情報共有します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		現在のところ、連携をとるまでに至っていない。今後、必要になってくるケースもあるので連携の方法を検討していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			児童クラブの子どもたちとイベントを組んで行ったりしている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	主催されている研修会には参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		保護者と相互に連絡を取り合えるようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	今後、必要に応じて検討します。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約やモニタリングなどの際に説明をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			困りごとに対してすぐに対応し、学校との連携も摂っている。行なった内容を職員間でも共有するようにしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者会を通して保護者同士の連携を取っている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			大きな苦情があることはなかったが、今後も対応の体制を整備して周知を図りたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎週、土曜日に週ごとの活動内容を画像を交えてお知らせしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			同意書の作成や書類の保管方法などに注意をして扱っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			時には保護者と子どもの間に入り、子どもの思いを伝えるアドボカシーを心掛けている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			地域の人たちに対してバザーを開いたりして足を運んでいただいている。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルの作成は行なっているが保護者へ配布を行なっていない。ホームページなどに掲載し、最新の情報を周知していきたい。

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に4回、児童と一緒に訓練を実施している。避難だけではなく、災害に遭った際にどのように過ごすのか、災害に対する知識などを身に付けられるようにしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			外部の研修を受けたり、事業所でも研修の機会を作っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			外部の研修を受けたり、事業所でも研修の機会を作っている。計画へk記載はしていないため、今後周知が出来るような形を検討していく。 現在の所は、身体拘束をしたことが無いが、今後、身体拘束をやむを得ず行う場合は、保護者への説明、了承を得たうえで行い、記録を取りたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギーのある児童は、医師からの診断書を提出してもらっている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			系列の事業所のものと合わせて共有している。